

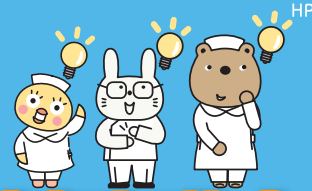


講座コード R-20

脳画像

薬剤

血液データ



脳卒中患者の疑問がスッキリ晴れる!

とっておきの検査・データ秘判読講座

開催日: 2020年 **6月6日(土) 10:00~16:10**

会場: インターネット生ライブ中継

講師: 飯田 祥 先生 (日本離床研究会)

対象: 看護師・PT・OT・ST (左記以外も受講可)

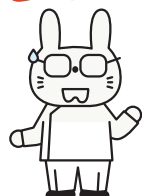
受講料: 一般12,800円(税込) 会員9,800円(税込)

講師からのメッセージ

「脳卒中は急変が多く、症状も多種多様!」そんな脳卒中は苦手と思われがち。脳卒中患者さんの症状はどこからくるの? 起こしているの? 今回は普段なにげなくみている「脳画像」「血液データ」「薬剤」3つのテーマについて、明日からすぐ使えるポイントをわかりやすくお教えします! さあ、一緒に脳卒中のニガテ意識を克服しましょう!!



多すぎる脳卒中患者を取り巻くデータにお困りではありませんか?



脳卒中患者のアセスメントで知っていることといえば「意識レベル」「麻痺の評価」「高次脳機能」・・・これらはみてるけど、脳画像・血液データや薬剤は項目が多くて、ついついドクター任せということはありませんか? でも、実はこれらの項目には病態やリスクを読み解くヒントが満載! 本講座では星の数ほどある検査項目や薬剤の中から、臨床でスグ使える項目に厳選し、ベテランに読み解きのコツを学びます。さあ、あなたも一歩すすんだ知識を学んで、怖い脳卒中患者のケアを自信をもって進めてみませんか?



これがわかれば脳卒中患者の離床に自信が持てる!
誰も教えてくれなかった裏ワザをベテランがこっそり伝授

脳画像 (CT・MRI・MRA)

- これだけでいいの!?
- たった5つの画像でわかる脳画像のキホン
- 画像をみながら書いて理解する脳の機能解剖と血管走行
～自分でびっくり! 今日であなたも脳のイラストレーター～
- この位置の病巣は運動麻痺になりますか?
- 障害部位から判断する麻痺の位置と程度予測
- どこまでよくなる? 画像から考える
高次脳機能・ADLの予後予測
- これはアウト! 脳画像とフィジカルアセスメントから読み解く急変直前の兆候とは?



血液データ

- まずはコレをおさえよう!
- 脳卒中患者における血液データのみかた
- 脳梗塞と聞いてまず何をみる!?
- 凝固系パラメータのチェックの仕方
- なぜそんなに血糖をはかるの!?
- 医師がやたら血糖値を気にするワケ
- 脱水とペナンプラ・脳血管攣縮の関係は重要!
- みるべき電解質と腎機能の指標 ほか



薬剤

- 薬剤辞典を見てもわからない! マンガでイメージする脳卒中治療薬とその効果～グリセオール®・ラジカット®・ウロキナーゼ®など～
- これを覚えれば脳卒中の治療薬はまるわかり! 語呂合わせで覚える系統別薬剤名
- ヘルベッサ®静注からアムロジン®内服に変わった! 良くなったの? 悪くなったの? 使用薬剤からわかる病態把握
- 薬と検査結果から何がわかる? 抗凝固薬と頸動脈エコーから考える離床の判断
- ガイドラインには載っていない! t-PA 静注療法後におけるケアのポイント



※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。

受講方法

- ① ホームページよりオンライン登録
- ② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! **日本離床学会**

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-12 プラールビル 2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

